

二五三〇番

あらたま 鹿玉の 寸戸が竹垣 編目ゆも 妹し見えなば
あれこ 我恋ひめやも

二五三一番

わが背子が その名告らじと たまきはる 命
は捨てつ 忘れたまふな

二五三二番

おほかたは 誰が見むとかも ぬばたまの 我が
くろかみ 黒髪を なびけて居らむ

二五三三番

おもわす 面忘れ いかなる人の するものそ 我はしかね
つ 継ぎてし思へば